

平成26年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

県土整備部

目

次

I	平成26年度県土整備部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	9
III	歳入歳出決算額	18
1	一般会計決算額	19
(1)	歳入決算額	19
(2)	歳出決算額	20
2	特別会計決算額	21
(1)	歳入決算額	21
(2)	歳出決算額	22

I 平成26年度県土整備部主要施策の成果の概要

I 平成26年度 県土整備部主要施策の成果の概要

「国土強靱化」の先鞭となる「強くてしなやかな県土づくり」を実現し、県勢発展の礎となる「社会インフラ整備」を着実に推進するため、「安全・安心対策」、「経済・雇用対策」、「宝の島・とくしまの実現」を3本の柱として、以下の主要施策を推進した。

第1 「安全・安心」対策の推進

1 大規模地震等を迎え撃つ事前防災・減災対策

「南海トラフ巨大地震」をはじめとする自然災害から県民の命と暮らしを守るため、災害に強いまちづくりを目指し、ハード・ソフト両面から事前防災・減災対策を推進した。

- (1) 「命の道」の整備や橋りょう耐震化などの防災・減災対策（道路整備課，都市計画課，高規格道路課）

「命の道」として、災害時に人命の救助や生活物資の広域的な輸送を行う、緊急輸送道路等の整備や橋りょうの耐震化の進捗を図るとともに、避難や早期啓開に資する道路整備を推進した。

- (2) 河川・海岸・港湾の地震・津波対策（河川整備課，運輸政策課）

河川堤防・水門・樋門の耐震調査や補強工事を実施するとともに、L1津波対策として、海岸堤防の液状化対策，嵩上げ工事等を推進した。

- (3) 公共土木施設の防災機能強化（道路整備課，都市計画課，砂防防災課）

ア 公園や「道の駅」の防災機能強化

安全な一時避難場所や広域物資拠点を確認するため、都市公園施設の耐震改修を実施するとともに、広域応援部隊の車両進入ルート整備や、新たな防災拠点の整備に向けた基本構想を策定した。

また、地域の防災力を向上させるため、「道の駅」に災害用トイレや非常用電源等を整備し、防災拠点化を図った。

イ 公共土木施設への津波避難機能の付加

地震・津波発生時の迅速な避難を可能にするため、がけ崩れ対策等と併せて、避難通路・階段を整備するなど、公共土木施設の平時の機能に津波避難機能を付加した。

- (4) 木造住宅等の耐震化の加速と空き家対策の推進（住宅課）
木造住宅及び民間建築物の耐震化を加速させるため、「補助対象の拡充」と耐震シェルターの普及など「新たな利用促進策」に取り組んだ。

また、地震時に倒壊して道路を閉塞する恐れのある老朽化した危険な空き家・空き建築物の除却を促進した。

- (5) 安全・安心なまちづくりの推進（都市計画課）
徳島東部都市計画区域において、津波浸水対策等を踏まえた安全で安心なまちづくりを推進するため、区域マスタープランの見直しに必要な基礎調査の分析を実施した。

2 浸水害や土砂災害を未然に防ぐ災害予防の強化

- (1) 浸水害の軽減を図る河川・海岸の整備（河川整備課）
河川の治水安全度を高めるため、河川改修事業を実施するとともに、高潮・波浪による浸水害を軽減するため、海岸侵食対策事業を実施した。

また、吉野川・那賀川水系の直轄管理区間における河川改修事業及び長安口ダム改造事業を促進した。

- (2) ハード・ソフト両面で「命を守る」土砂災害対策（砂防防災課）
土砂災害から「尊い命を守る」ため、土砂災害防止法に基づく「警戒区域」等の指定に向けた基礎調査を加速し、結果を公表するとともに、通常砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業等を実施した。

3 「賢く使う」社会資本の総合的・戦略的維持管理

- (1) 社会資本の老朽化対策（道路整備課、都市計画課、河川整備課、砂防防災課、運輸政策課）
老朽化が急速に進む、道路、河川、港湾、都市公園などの社会資本については、日常点検や適切な維持補修を行うとともに、長寿命化計画に基づく戦略的な維持管理・更新を行うことで、県民の安全・安心を確保した。

また、新たに砂防堰堤、海岸保全施設の長寿命化計画に着手した。

- (2) 官民連携維持管理の推進（県土整備政策課、道路整備課、都市計画課、河川整備課、運輸政策課）
地域団体やNPOなどとの連携協力の下に、環境美化活動を行う土木施設アドプト支援事業や除草作業を行う官民協働型「維持管理システム」推進事業を実施することにより、土木施設の適正な維持管理を行うとともに、これらの取組みを通して地域活動の活性化を図った。

また、アドプトプログラムの対象に「橋りょうアドプト」を追加した。

4 誰もが安全で安心して生活できる社会基盤の整備

- (1) 通学路の交通安全対策（道路整備課）
緊急合同点検結果に基づく対策をはじめ、通学路の交通安全の確保に向けた取組みを推進した。
- (2) 孤立化対策となる生命線道路の整備（道路整備課）
中山間地域の生命線道路において、災害時の交通途絶が発生しないよう、道路の整備や危険箇所の落石対策及び橋りょう耐震化を推進した。
- (3) 生活排水対策の総合的な推進（水・環境課）
生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、汚水処理構想に基づき、汚水処理施設の計画的かつ効率的な整備の推進を図り、汚水処理人口普及率の向上に努めた。

第2 「経済・雇用」対策の推進

1 地域資源の活用による地域の活性化

- (1) 「吉野川に架かる橋りょう」の持つ魅力の再発見（道路整備課）
道路施策に関する知識を深め、橋りょうの持つ魅力を再発見してもらうため、ホームページ「橋の博物館」の英訳版の作成や、吉野川の橋めぐりを体感できるようなコンテンツの作成などを実施した。
- (2) 徳島小松島港・津田地区の活性化への取組み（運輸政策課）
徳島小松島港津田地区において、四国横断自動車道の追加インターチェンジの検討と併せ、これを活用した「物流機能の充実強化」の観点を含めた活性化計画の検討を行った。
- (3) 文化との連携による鉄道の活性化（交通戦略課）
ジャズトレインをはじめとする音楽列車の取組みを進めるなど、列車と音楽の融合による鉄道の活性化を図った。
- (4) 県内産資材の原則使用（建設管理課）
県が実施する公共事業において、県内産資材を使用した工法の積極的な採用や、県内産資材の原則使用を推進した。

2 地域雇用や地域防災力を支える建設産業への支援

- (1) 県内企業への優先発注の推進（建設管理課）
地元建設企業の育成や受注機会の確保を図るため、県内建設企業の優先発注を推進した。
- (2) ダumping対策や総合評価落札方式の推進（建設管理課）
公共工事の入札における競争性・透明性・公正性を確保しつつ、インフラの品質やその担い手を確保するため、入札・契約制度において、ダumping対策や総合評価落札方式、さらには適正価格での契約の推進など、見直しを行った。
- (3) 建設業BCPの策定支援及びフォローアップ（建設管理課）
地域の防災力を担う建設企業の事業継続力を高めるため、引き続き「建設業BCP」の認定や、認定企業に対するフォローアップを実施した。

第3 「宝の島・とくしま」の実現

1 本四高速全国共通料金対応戦略の推進

本州四国連絡高速道路に「全国共通料金制度」が導入されるなど、「陸・海・空」全ての交通体系が飛躍的な進化を遂げた、本県にとっての「エポック・メイクの年」に、「新たなステージの幕開け」を担う取組みを進めた。

- (1) 広域交通ネットワークの整備（用地対策課，道路整備課，都市計画課，運輸政策課，高規格道路課）
 - ア 高速自動車国道の整備
四国横断自動車道の鳴門JCT～徳島IC間については、「松茂スマートIC」と併せて、供用開始が図られるよう努めた。徳島東IC～小松島IC間については、津田地区の高速道路用地を造成するとともに、用地取得を促進した。小松島IC～阿南IC間については、用地取得や工事を促進した。
また、高速道路の機能強化として、高松自動車道の4車線化を促進するとともに、徳島自動車道の早期4車線化実現に努めた。
 - イ 地域高規格道路等の整備
四国横断自動車等の高規格幹線道路を補完するため、徳島環状道路の整備を推進した。
また、阿南安芸自動車道については、桑野道路及び福井道路の整備促進、「計画段階評価」の手続が進む海部道路の早期事業化に努めるなど、「ミッシングリンクの早期解消」に向けた取組みを促進した。

ウ 渋滞対策の推進

徳島市内とその周辺部の渋滞緩和に向け、放射・環状道路の整備を促進するとともに、鉄道高架の都市計画決定に向け必要となる調査等を実施した。

エ 観光振興に資するアクセス整備

「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」を訪れる観光客の利便性向上に資する道路整備の実施や、県観光のイメージアップを図るため、「すだちくん」を活用した案内標識を設置した。

(2) 港湾整備の推進及び港湾の振興（運輸政策課）

ア 港湾整備の推進

徳島小松島港では、沖洲地区において、調和のとれた港湾空間の創出を目指すため、物流・防災機能の強化や船舶の大型化に対応した「水深8.5m耐震強化岸壁」の完成を図るとともに、四国横断自動車道用地を整備した。津田地区においては、四国横断自動車道や木材団地再整備等のための用地造成工事を推進した。

橋港等では、海上物流機能の維持・向上を図るため、港湾施設の整備を進めた。

イ 港湾の振興

徳島小松島港の更なる利用促進を図るため、「既存定期航路の充実・強化」や「新規航路の開設」に向けた各種支援策を推進するとともに、外国クルーズ客船の寄港に向けて、戦略的ポートセールスを実施した。

(3) 「徳島阿波おどり空港」の機能強化及び利用促進（道路整備課、交通戦略課、高規格道路課）

ア 空港へのアクセス整備

「徳島阿波おどり空港」への利便性向上を図るため、空港と四国横断自動車道を結ぶ「松茂スマートIC」へのアクセス道路の整備を進めた。

イ 空港機能の強化及び利用促進

「徳島阿波おどり空港」の機能強化を図るため、産学民官連携による共同調査研究委員会において、整備すべき施設や地域活性化への活用方策について検討した。

また、更なる利用を促進するため、徳島空港利用促進協議会とともに、「徳島－東京線就航50周年記念事業」を開催した。

2 国土軸のリダンダンシーの確立に向けた取組み（交通戦略課）

「四国新幹線」の実現に向け、関係自治体と連携し、シンポジウムを開催するなど機運醸成を図り、整備計画への格上げに向けた取組みを進めた。

3 阿佐東線の活性化・公共交通機関の利用促進

(1) 阿佐東線の活性化（交通戦略課）

県南地域において重要な役割を果たしている阿佐東線の活性化を図るため、各種イベント列車の運行や、学生の体験学習などを実施した。

(2) 鉄道・フェリー・生活バス路線の利用促進（交通戦略課）

生活に密着した地方バス路線等の陸上交通のほか、鉄道、フェリーなどについて、利用促進をはじめとする交通対策を実施した。

4 地域の活力を生み出す県都のにぎわい創出（運輸政策課）

万代中央ふ頭において、にぎわい空間の創出を実現するため、にぎわいの定着と新たな利活用者が自立するためのサポートを行った。

5 自然エネルギー立県の実現（道路整備課）

「あわ産LED道路照明灯」の導入を加速し、土木施設の省エネルギー化を推進するなど、自然エネルギー立県の実現に向けた取組みを実施した。

6 豊かな生活空間の創造

(1) 公園整備の推進（都市計画課）

県民がのびのびと心豊かな生活が送れることを目指し、身近な健康・レクリエーション施設として県営都市公園の施設整備を行った。

(2) 第25回全国「みどりの愛護」のつどいの開催（都市計画課）

都市緑化意識の高揚や緑を守り育てる運動を積極的に推進するため、第25回全国「みどりの愛護」のつどいを開催した。

(3) 住宅整備の推進（住宅課）

県営住宅の耐震化を図るため、PFI手法による集約化事業を実施し、地元との連携による地域に開かれた県営住宅を整備するとともに、環境に配慮した「長期優良住宅」の普及や高齢化社会に対応した「サービス付き高齢者向け住宅」の供給を促進した。

- (4) ユニバーサルなまちづくりの推進（建設管理課，道路整備課，都市計画課，住宅課，交通戦略課）
障がい者，高齢者を問わず，全ての人が安全・快適に暮らせるまちづくりを推進した。

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
大規模地震等を迎え撃つ 事前防災・減災対策	鳴門合同庁舎耐震改修事業	鳴門合同庁舎の防災拠点施設としての機能を強化するため、庁舎の耐震改修及び自家発電設備等の浸水対策を推進した。 (68,305)
	東部県土整備局徳島庁舎 防災機能強化事業	東部県土整備局徳島庁舎の防災拠点施設としての機能を強化するため、自家発電設備や受変電設備等の高所への設置及び庁舎出入口への防水板の設置による浸水対策に着手した。 (46,579)
	「道の駅」防災拠点化事業	大規模災害発生時の地域防災力を向上させるため、既存「道の駅」において、防災拠点化に関する設計及び工事を実施した。 (21,593)
	緊急輸送道路整備事業	人命の救助や生活物資の広域的な緊急輸送を行う緊急輸送道路を整備するとともに、橋りょうの耐震補強工事を実施した。 (10,357,992)
	公園整備事業	南海トラフ巨大地震に備え、一時避難所、広域応援部隊の活動拠点、支援物資拠点など、防災拠点としての機能強化を図るため、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアムの整備を推進した。 また、南部健康運動公園、JAバンク蔵本公園においても防災拠点機能の強化を推進した。 (2,418,968)
	西部健康防災公園整備事業	平常時の健康づくりと西部圏域での自然災害への対応や南海トラフ巨大地震時の沿岸部の後方支援を担う防災機能を備えた「リバーシブルな公園」の整備に向け、基本構想を策定した。 (2,675)
	都市計画調査事業費	徳島東部都市計画区域において、区域マスタープランの見直しに必要な基礎調査に引き続き、分析に着手した。 (20,196)
	木造住宅耐震化促進事業	木造住宅の耐震化を促進するため、平成12年5月以前に建築された木造住宅の耐震診断、耐震改修及び耐震改修アドバイザーの派遣を行う市町村に対し補助を行うとともに、「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業」を実施し、「命だけは守る簡易耐震化工事」と併せて実施するエコ・リフォーム工事に対する補助を行った。 また、建築士を対象に講習会を開催し、耐震診断員及び耐震改修アドバイザーを養成するとともに、施工者を対象に耐震改修講習会を開催し、耐震改修技術の普及を図った。 (29,450)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
大規模地震等を迎え撃つ 事前防災・減災対策	民間建築物耐震化支援事業	地震による建築物の倒壊を防ぐため、民間建築物の所有者等が実施する耐震診断等に補助を行う1市2施設に対して支援を実施した。 (2, 628)
	老朽危険空き家・空き建築物 除却支援事業	地震時に倒壊して道路を閉塞する恐れのある老朽化した危険な空き家・空き建築物の除却に補助を行う市町に対して支援を実施した。 (8, 962)
	地震・高潮対策河川事業	南海トラフ巨大地震に伴う津波の河川遡上による浸水被害を軽減するため、堤防・水門・樋門の耐震調査及び補強工事を実施した。 (593, 353)
	海岸保全施設整備事業	南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、海岸保全施設の整備を推進した。 (1) 海岸高潮対策事業 (555, 700) (2) 津波・高潮危機管理対策緊急事業 (228, 908)
浸水害や土砂災害を未然に 防ぐ災害予防の強化	河川改修事業	園瀬川ほか7河川において、護岸・築堤等の広域河川改修事業を実施するとともに、総合流域防災事業として、宮ヶ谷川ほか17河川において、比較的小規模な河川改良工事を実施した。 (1) 広域河川改修事業 (1, 171, 554) (2) 総合流域防災事業 (1, 400, 441) (3) 河川特殊改良事業 (269, 086)
	海岸侵食対策事業	海岸の侵食対策として、今津坂野海岸において、大規模突堤工を実施した。 (286, 050)
	砂防事業	山王谷ほか13箇所において、砂防えん堤工等の通常砂防事業を実施するとともに、有瀬ほか19箇所において、横ボーリング工等の地すべり対策事業を実施した。また、山彦谷ほか22箇所において、小規模な護岸工等の県単独砂防事業を実施した。 (1) 通常砂防事業 (277, 742) (2) 地すべり対策事業 (1, 005, 931) (3) 災害関連緊急地すべり対策事業 (13, 116) (4) 総合流域防災事業 (1, 112, 452) (5) 県単独砂防事業 (91, 808)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
浸水害や土砂災害を未然に防ぐ災害予防の強化	急傾斜地崩壊対策事業	<p>川ヨリ西ほか16箇所において、擁壁工及び法面工等の急傾斜地崩壊対策事業を実施した。 また、国の補助事業として認められない小規模ながけ崩れ対策工事を実施する市町村に対し、県単独急傾斜地崩壊対策事業による県費補助を行った。</p> <p>(1) 急傾斜地崩壊対策事業 (530,946) (2) 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 (9,166) (3) 県単独急傾斜地崩壊対策事業 (48,970)</p>
「賢く使う」社会資本の総合的・戦略的維持管理	土木施設アドプト支援事業	<p>道路、河川、公園、港湾等の県が管理する土木施設について、アドプト契約した団体に対し、看板設置等の支援を行った。 (4,330)</p>
	道路維持修繕費	<p>県管理道路において、舗装補修等の維持修繕を実施し、一般交通に支障をきたさないよう施設を良好に保つことに努めた。 (2,486,455)</p>
	橋りょう長寿命化修繕計画策定事業	<p>県管理橋りょうについて、今後急速に進む老朽化に対応し、対症的修繕から予防保全的な修繕に移行するため、定期点検結果に基づき長寿命化修繕計画の見直しを行った。 (205,242)</p>
	橋りょう修繕費	<p>県管理橋りょうの老朽化、交通量増加に伴う劣化に対し、長寿命化修繕計画に基づき、長期にわたって安全に供用が継続できるよう、鋼橋の再塗装及び損傷した床版や橋桁の修繕を実施した。 (2,799,899)</p>
	公園維持修繕費	<p>鳴門ウチノ海総合公園ほか7公園において、施設の維持修繕を行うなど適正な管理に努めた。 (410,428)</p>
	都市公園安全・安心対策事業	<p>老朽化が進む都市公園施設について、利用者の安全・安心を確保するため、適切な施設更新を行うとともに、ライフサイクルコストの削減を図る長寿命化対策を実施した。 (195,644)</p>
	河川海岸維持修繕費	<p>堤防護岸の補修や浚渫等を施工するとともに、県営樋門、排水機場の老朽・破損箇所の補修を行い、河川災害の未然防止に努めた。 (677,547)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
「賢く使う」社会資本の 総合的・戦略的維持管理	堰堤改良事業	ダム安全性及び機能を長期的に保持するため、ダム管理用設備の改良を実施した。 (121, 332)
	河川管理施設長寿命化事業	河川管理施設の老朽化に伴う更新費用の増大に対して、ライフサイクルコストの縮減を図るため、排水機場等の長寿命化計画を策定し、これに基づき修繕工事を実施した。 (515, 794)
	砂防維持修繕費	老朽化等により損傷した砂防施設の補修や堆積土砂の除去等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。 (29, 584)
	港湾海岸施設維持補修費	老朽化または機能が低下した港湾海岸施設を維持補修することにより、港湾機能の円滑な利用運営を図った。 (306, 300)
	港湾海岸施設老朽化対策緊急事業	海岸保全施設の機能の回復や強化を図り、自然災害から県民の命や財産を守るため、港湾海岸施設の長寿命化計画等を策定し、計画的な老朽化対策を推進した。 (4, 600)
誰もが安全で安心して生活 できる社会基盤の整備	交通安全対策事業	歩行者・自転車の通行の安全を確保するため、歩道の新設や拡幅工事を行うとともに、交差点改良の進捗を図った。 (943, 556)
	道路事業	中山間地域の生命線道路において、災害時の交通途絶が発生しないよう、道路整備や危険箇所の落石対策及び橋りょう耐震化を推進した。 (1) 緊急地方道路整備事業 (698, 960) (2) 道路局部改良事業 (139, 864) (3) 路側整備事業 (9, 927)
	旧吉野川流域下水道事業	公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、旧吉野川浄化センターの適正な管理運営等に努めた。 (459, 438)
	浄化槽維持管理指導事業	生活排水による河川等の公共用水域の汚濁防止のため、市町村が行う浄化槽設置整備事業に対して助成し、設置の促進を図った。 (52, 509)
	農業集落排水整備事業	農山漁村における快適な生活環境づくりに資するため、集落排水施設の整備を推進した。 (36, 500)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
地域資源の活用による 地域の活性化	「橋の博物館」世界に橋らせ P R 事業	道路施策に関する知識を深め、橋りょうの持つ魅力を再発見してもらうため、ホームページに掲載している「橋の博物館」の英訳版の作成や、吉野川の橋めぐりを体験できるコンテンツの作成などを実施した。 (5, 224)
	徳島小松島港津田地区活性化 計画策定事業	四国横断自動車道の追加インターチェンジの検討と併せ、これを活用した「物流機能の充実強化」の観点を含めた活性化計画の検討を行った。 (8, 505)
	とくしま交通ブランドアップ 事業	バス・鉄道をはじめとする公共交通機関の埋もれている魅力を発信し、地域公共交通の維持・活性化を図るため、新たな顧客獲得や地域の活性化にもつながる、音楽を活用した列車の運行や、LEDによる車内装飾などを実施した。 (1, 370)
地域雇用や地域防災力を 支える建設産業への支援	電子入札・電子納品等推進 事業	発注者・受注者双方のコスト縮減と、入札・契約手続きの透明性、競争性のより一層の確保を図るため、電子入札システムの適切な運用を行うとともに、鳴門市他6市と共同利用を行った。 (77, 617)
	建設産業再生支援事業	建設企業の経営体質の強化や、災害時の事業継続力・災害対応力の更なる向上を図るため、各種セミナーを実施した。 (1, 217)
広域交通ネットワークの 整備	高速自動車道対策事業	国土交通省及び西日本高速道路株式会社から委託される高速道路建設に係る用地事務を実施するとともに、市町が行う側道等の整備に対し助成を行い、高速道路等の建設促進を図った。 (79, 775)
	四国横断自動車道（新直轄区 間）用地先行取得事業	新直轄方式により整備中の四国横断自動車道（阿南IC－徳島東IC間）の整備促進を図るため、用地取得を推進した。 (2, 058, 613)
	放射・環状道路網整備事業	徳島市及び周辺地域の交通渋滞を緩和し、都市部と各地域との交通を円滑にするため、県道徳島環状線等の放射・環状道路の整備を進めた。 (2, 164, 880)
	鉄道高架事業	徳島市内における鉄道高架事業について、都市計画決定に向けた調査・設計を実施した。 (22, 538)
	「おもてなし！すだちくんが 道案内」事業	「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」を訪れる観光客の利便性向上に資する道路整備の実施や県観光のイメージアップを図るため、「すだちくん」を活用した案内標識を設置した。 (1, 341)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果	
広域交通ネットワークの整備	道路整備利用促進基金積立金	平成25年度をもって本四高速の出資金の抛出が終了したため、生じた負担軽減分を活用し、高速道路及びこれと一体となって本県の幹線道路網を構成する道路の整備や利用の促進を図るため、基金を創設した。 (2,001,396)	
	徳島自動車道利用促進キャンペーン事業	四国横断自動車道「徳島IC-鳴門JCT」間の開通を捉え、県西部地域において、徳島自動車道をはじめとする高速道路の利用促進を図るため、ネクスコ西日本及び本四高速と連携した、利用促進キャンペーンを実施した。 (3,996)	
港湾整備の推進及び港湾の振興	徳島小松島港沖洲地区整備事業	広域交通ネットワークの形成や、環境に配慮した港湾空間の創出を図るため、四国横断自動車道などの交通機能用地等の整備を行うマリンピア沖洲第二期事業の進捗を図った。 (1) 港湾改修事業 (59,000) (2) 臨海土地造成事業 (331,000)	
	徳島小松島港沖洲ふ頭整備事業	本県の物流・防災機能の強化を図るため、大型船舶に対応した耐震強化岸壁やふ頭整備を行った。 (1) 港湾補修事業 (69,582) (2) 県単独港湾整備事業 (159,620)	
	徳島小松島港津田地区整備事業	広域交通ネットワークの形成や木材団地の再整備を図るため、四国横断自動車道用地等の整備を行った。 (1) 港湾環境整備事業 (13,695) (2) 県単独港湾整備事業 (30,000)	
	徳島小松島港コンテナ利用促進事業	徳島小松島港で国際コンテナ輸送を行う荷主(企業・商社等)に対し、コンテナ貨物の輸出入に要する経費の一部を助成した。 (18,000)	
	外国クルーズ客船誘致戦略推進事業	クルーズ客船の誘致を図るため、船社への「ポートセールス」、「港湾施設への機能調査」及び「保安施設計画検討」等を行った。 (20,644)	
	「徳島阿波おどり空港」の機能強化及び利用促進	道路事業	「徳島阿波おどり空港」への利便性向上を図るため、空港と四国横断自動車道を結ぶ「松茂スマートIC」へのアクセス道路の整備を進めた。 (1) 緊急地方道路整備事業 (2,179,311)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
「徳島阿波おどり空港」の機能強化及び利用促進	徳島阿波おどり空港施設整備調査費	徳島阿波おどり空港の機能強化を図るため、産学民官連携による共同調査研究委員会において、整備すべき施設や地域活性化への活用方策について検討を行った。 (8, 663)
	とくしまスカイゲートウェイ活用拡大推進事業	徳島阿波おどり空港の活用拡大を図るため、新規路線の開設・育成支援や、エアポートラウンジを活用した近隣地域利用者のメリット創出を行った。 (3, 621)
国土軸のリダンダンシーの確立に向けた取組み	四国新幹線導入促進事業	「四国新幹線」の実現に向け、関係自治体との連携により機運醸成を図り、整備計画への格上げに向けた取組みを進めた。 (250)
阿佐東線の活性化・公共交通機関の利用促進	あさてつ賑わいづくり実践事業	鉄道の維持存続や活性化を図るため、既設インフラを最大限活用し、利用者の利便性や鉄道輸送の魅力向上に努めた。 (2, 851)
	地方バス路線対策費	地方バス路線の運行を維持し、地域住民の移動手段を確保した。 (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (125, 780) (2) 生活バス路線維持確保補助金 (66, 645)
地域の活力を生み出す 県都のにぎわい創出	港にぎわい空間創出事業	万代中央ふ頭において、にぎわい空間の創出を実現するため、にぎわいの定着と新たな利活用者が自立するためのサポートを行った。 (9, 400)
自然エネルギー立県の実現	道路照明灯LED化加速事業	安全で快適かつ効率的な道路環境の実現を図るため、あわ産LED道路照明灯の新設及び既存照明灯のLED灯への転換を推進した。 (182, 414)
公園整備の推進	南部健康運動公園整備事業	県南のスポーツ・レクリエーションの拠点となる南部健康運動公園において、クロスカントリーコースとして利用できる園路の整備を進めた。 (35, 694)
第25回全国「みどりの愛護」のつどいの開催	広げよう！緑・花推進活動事業	都市緑化意識の高揚や緑を守り育てる運動を積極的に推進するため、第25回全国「みどりの愛護」のつどいを開催した。 (27, 800)
住宅整備の推進	県営住宅建設事業	健康で文化的な生活と高齢者等の住宅の確保に資するため、県営住宅の集約化建替や、耐震化・長寿命化を進めることにより良質低廉な賃貸住宅の供給に努めた。 県営住宅のストック改善として、城東町団地等の屋上防水・外壁改修工事等や羽ノ浦春日野団地等の受水槽耐震化工事等を実施した。 また、県営住宅の集約化建替により、万代町団地等の住棟を整備した。 (2, 287, 124)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
ユニバーサルなまちづくりの推進	交通安全対策事業 道路事業 街路事業	全ての人々が利用しやすい道路空間を確保するため、未改良区間の整備を進めるとともに、幅が広く平坦で段差のない歩道の整備や電線類の地中化に取り組んだ。
	公園整備事業	都市公園の整備・改修にあたり、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、誰もが安全・快適に利用できる公園の整備に取り組んだ。
	県営住宅建設事業	県営住宅の建替を進めるにあたり、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、誰もが安心して快適に暮らせる県営住宅の整備に取り組んだ。

Ⅲ 歳入 歳出 決算 額

項目	歳入	歳出
1. 歳入		
2. 歳出		
3. 歳入超過額		
4. 歳入不足額		

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較
県土整備政策課	123,506,000	123,389,534	123,389,534	0	0	△116,466
建設管理課	92,612,000	96,819,108	96,819,108	0	0	4,207,108
用地対策課	39,987,000	598,778,363	45,295,060	0	553,483,303	5,308,060
道路整備課	19,593,996,876	15,108,685,897	15,106,255,999	472,500	1,957,398	△4,487,740,877
都市計画課	3,586,217,776	2,670,402,581	2,670,402,581	0	0	△915,815,195
住宅課	3,407,361,000	3,530,695,844	3,251,161,095	1,067,375	278,467,374	△156,199,905
営繕課	4,988,000	3,222,979	3,211,920	0	11,059	△1,776,080
河川整備課	4,076,545,000	3,088,356,935	3,081,894,931	129,843	6,332,161	△994,650,069
砂防防災課	4,472,899,000	2,498,077,699	2,498,077,699	0	0	△1,974,821,301
水・環境課	116,422,000	96,655,000	96,655,000	0	0	△19,767,000
運輸政策課	2,273,842,074	1,984,728,689	1,982,544,329	1,288,400	895,960	△291,297,745
交通戦略課	39,875,000	41,217,209	41,217,209	0	0	1,342,209
高規格道路課	1,787,527,220	1,637,764,358	1,637,764,358	0	0	△149,762,862
計	39,615,778,946	31,478,794,196	30,634,688,823	2,958,118	841,147,255	△8,981,090,123
収用委員会事務局	520,000	520,560	520,560	0	0	560
総計	39,616,298,946	31,479,314,756	30,635,209,383	2,958,118	841,147,255	△8,981,089,563

(2) 歳出決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と 支出済額 との比較
県土整備政策課	5,243,516,000	4,977,552,786	210,716,570	55,246,644	265,963,214
建設管理課	137,364,000	117,172,976	19,350,000	841,024	20,191,024
用地対策課	52,286,000	49,359,448	0	2,926,552	2,926,552
道路整備課	31,354,801,286	22,789,758,381	7,981,937,058	583,105,847	8,565,042,905
都市計画課	6,476,069,700	4,753,603,420	1,710,130,520	12,335,760	1,722,466,280
住宅課	3,136,510,282	2,830,969,323	167,861,000	137,679,959	305,540,959
営繕課	5,282,000	3,498,137	0	1,783,863	1,783,863
河川整備課	10,533,305,000	8,136,296,324	2,355,899,680	41,108,996	2,397,008,676
砂防防災課	8,842,850,000	4,759,414,906	3,808,585,000	274,850,094	4,083,435,094
水・環境課	485,242,000	456,947,282	4,015,000	24,279,718	28,294,718
運輸政策課	4,761,974,000	3,937,062,895	746,612,000	78,299,105	824,911,105
交通戦略課	369,298,400	337,727,681	18,232,000	13,338,719	31,570,719
高規格道路課	2,809,842,000	2,573,828,357	178,484,120	57,529,523	236,013,643
計	74,208,340,668	55,723,191,916	17,201,822,948	1,283,325,804	18,485,148,752
収用委員会事務局	61,495,000	60,267,926	0	1,227,074	1,227,074
総 計	74,269,835,668	55,783,459,842	17,201,822,948	1,284,552,878	18,486,375,826

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
用 地 対 策 課	公用地公共用地 取得事業特別会計	304,784,000	456,801,577	456,801,577	0	0	152,017,577
住 宅 課	県営住宅敷金等 管理特別会計	99,262,000	117,073,752	115,899,762	0	1,173,990	16,637,762
水 ・ 環 境 課	流域下水道事業 特別会計	739,614,200	720,838,651	720,838,651	0	0	△18,775,549
運 輸 政 策 課	港湾等整備事業 特別会計	1,911,286,000	2,097,883,682	2,087,928,182	639,030	9,316,470	176,642,182
	計	3,054,946,200	3,392,597,662	3,381,468,172	639,030	10,490,460	326,521,972

(2) 歳出決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と 支出済額 との比較
用 地 対 策 課	公用地公共用地 取得事業特別会計	2,348,784,000	1,659,458,869	419,453,000	269,872,131	689,325,131
住 宅 課	県営住宅敷金等 管理特別会計	99,262,000	83,186,773	0	16,075,227	16,075,227
水 ・ 環 境 課	流域下水道事業 特別会計	886,614,200	854,070,842	27,511,590	5,031,768	32,543,358
運 輸 政 策 課	港湾等整備事業 特別会計	6,841,286,000	6,744,602,653	77,000,000	19,683,347	96,683,347
	計	10,175,946,200	9,341,319,137	523,964,590	310,662,473	834,627,063